

令和6年2月29日



さかもと



さわやかに かがやいて もくひょうもって ともにあゆもう

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakamoto/>

横浜市立坂本小学校 校長 荒井 正史

校長 荒井 正史

2月21日(水)、4年生の子どもたちがクリーンイベントとして、地域の方々、保護者の方々とともにゴミ拾い活動を行いました。子どもたちは、これまでの学習から「自分たちの住むまちをもっときれいにして、さらに住みやすいまちにしたい」「まちの人たちと一緒にゴミ拾いをすることによって、もっと地域の方々と仲良くなりたい」という思いをもち、このイベントを企画しました。サッカーJリーグ横浜FC、上星川商店会、資源循環局の皆さまがこうした子どもたちの思いに賛同してくださり、当日は多くの地域の方々、保護者の方々、そして横浜FCのフリ丸、資源循環局のミーオも一緒にまちに出かけゴミ拾いを行ってくれました。地域の方々、保護者の方々、関係諸機関の方々が一緒になって子どもたちの思いに添えてくださったことは、地域を愛する子どもたちの思いがさらに強まったことと思います。

今年度、サッカーJリーグ横浜FCの皆さまとは、地域に横浜FC・LEOCトレーニングセンターがあることから交流をもたせていただくようになりました。選手との交流やサッカー教室だけでなく、多くの子どもたちの思いにも添えていただきました。特に4年生は、横浜FCとのかかわりを総合的な学習の時間の一環として行い、ペア学年である2年生にサッカーの楽しさを伝えるためのコーチングやアスリートの食育について学んだり、グッズであるタオルマフラーのデザインを出掛けさせていただいたりして、子どもたちの学びが深まりました。クリーンイベントでは、4年生が横浜FCの方々に「〇〇さん」と自然に呼んでいたのが印象的でした。それだけ、横浜FCの皆さまと4年生は日常的に交流を深めることができたのだと思います。

ほかにも今年度は、さまざまな地域の方々に子どもたちの教育活動を支援してくださいました。上星川商店会の皆さまには、2年生や3年生が商店会に出かけ、インタビューをさせていただきました。横浜国立大学の皆さまには「ふわふわルーム」などの支援をしてくださいました。社会福祉協議会の皆さまには、さまざまな視点で人権教室を行っていただきました。保土ヶ谷警察署の皆さまには、交通安全教室を複数回行っていただいたり、朝会のビデオ放送にて日頃の登下校などで気をつけることなどを教えていただいたりしました。

また、地域、保護者の皆さまには、「見守り隊」や「ふんわりの会」、図書館の整備、図画工作や音楽、外国語や体育、家庭科など多くの学習場面で支援をありがとうございました。先日、見守り隊の方々から「子どもたちが気軽に話しかけてくれるようになって嬉しいです」「毎朝、子どもたちから元気ももらっています」とおっしゃっていただきました。今年度、こうして子どもたちが多くの地域、保護者の方々と日常的にふれ合うことができたことは、子どもたちにとって貴重な時間であったとともに、地域の方々がより身近になり、「まちの一員」としての思いや地域に対する愛情も育まれたのではないかと思います。

地域の皆さま、保護者の皆さま、今年度も子どもたちにあたたいご支援をいただき、ありがとうございました。これからも、まちの宝である子どもたちを皆さまと一緒に育てていきたいと考えています。これからもよろしくお願ひいたします。

お知らせ

〇小林 沙織教諭の病気休暇について

2月下旬より、4年4組の担任の小林 沙織教諭が病気休暇に入りました。4年4組は菅野 小百合主幹教諭が学年末まで担任いたします。